

カルチャーセンターコミュニティの広場

長後公民館活動47年間の足跡

長後の街の文化活動の拠点、公民館。藤沢市公民館運営目標には「すべての市民が、いつでも、どこでも、生涯にわたり、学習、文化、スポーツの活動が行えるような総合的な運営をする」とある。開館以来47年になる長後公民館活動の足跡を辿ってみた。

長後行政センターに公民館が開館したのは昭和43年。翌年サークル活動も始まり、48年にはその成果を社会教育活動作品展で発表した。同年にセンターは長後市民センターと改称。

50年、サークル活動の限らない発展を願い、20余のサークルが連絡協議会「ひろがりの会」を設立し、同年10月に第一回長後地区文化祭を開催した。この文化祭は51年まで開催され、以後はふるさとまつりへと引き継がれた。

51年、公民館に職員、社

会教育指導員が配置され、地域住民の意向を事業に反映させるために公民館運営審議会も発足した。だが、行政指導の運営に頼りがちであった。

同年、住民の自主的な運営へという気運が高まり、学習場所も身近な施設を利用した住民手作りの移動公民館活動が歩き始めた。52年、第一回長後ふるさとまつりが開催され、サークル活動の成果はここで披露されるようになった。

60年、体育館、調理室などの機能を備えたコミュニ

ティホールが完成し、活動内容はより充実した。



社会を耕す文化活動の拠点

そして、同年の文化の日、長後公民館は全国33の優良公民館の一つに選ばれ、文部大臣より表彰された。地域に根ざした特色ある活動、運営に工夫をこらした事業実績が高く評価されたものであった。

復興支援・地産地消の集い 第6弾 「長後を食べよう！」

日時：11月14日(土) 9:30~14:00
会場：長後駅東口
長後地区整備事務所周辺
☆地産地消コーナー
☆復興支援コーナー
☆長後商店街コーナー
☆ゲストコーナー
☆お楽しみビンゴ大会
*同時開催
JA さがみふれあい祭り

の建て替えに伴い、公民館も改築され、和室、工作室、保育室なども設けられて、多様化する生涯学習のニーズに対応できるようになった。現在、公民館では183のサークルが活動しているが、会員主体の運営であるか、運営は分担されているか、地域に根付いた活動や会員構成であるかなど課題も見えている。

長後市民センター

職員異動(10月1日付)
お疲れ様でした
山崎 淳一 資産税課
どうぞよろしく
平野 大介 地域担当

第38回ふるさとまつり

開館翌年発足のサークル

10月17・18日開催されたふるさとまつり。50サークルが活動成果を発表した。

中でも木蓉会(書道・羽鳥象空)、神仙吟詠会(詩吟・渡辺神仙)、翠榕会(茶道・谷山宗都)、麦笛(コーラス・北島基子)は公民館開館の翌年に発足し、46年間の活動歴を持つ。(括弧内の氏名は当時の講師 敬称略)

PHOTO歳時記



西の市

11月に行われる開運招福、商売繁盛を願う祭り。おかめの面、模造小判など飾り付けた縁起物の熊手には「客を取り込む」「福を取り込む」という意味がある。年々福が来るように大きい物に買い換えるのがよいと言われている。熊手を買うと売り子の皆さんが手締めを打ってくれる。

今年は一の酉11月5日、二の酉11月17日、三の酉11月29日までである。

長後だより研修会

ロボケアセンター見学

9月17日(木)、長後だより編集委員が辻堂駅前にある湘南ロボケアセンター株式会社を訪問した。同社は足腰の弱った人の動作をロボットの手で補助するロボットスーツHALを用いたりハビリトレニングを中心、デイサービス等の介護保険事業を行っている。

HALは、手や足を動かそうとする人の意思を電気信号として捉えてロボットを動かす。編集委員も実験に参加してみた。手に電極を巻き、腕を曲げるとロボットの腕も曲がる。障がいを持つ人にとっては力強い味方だ。



手の動きに合わせてロボットの関節が動く



古典を大切に指導する田中さん

その一つ木蓉会の講師田中椋象さんは、日本の伝統文化を伝えたいと、会を設立した師の遺志を27年前に継いだ。「一朝一夕に会得できない書の道。筆を持つ楽しさを味わいながら続ける精神も培ってほしい」と笑顔で会員さんに向けた。

文化香る学び舎の秋

長後中学校で オペラ公開リハーサル

10月3、4日長後中学校体育館で、NPO法人ミラマール・オペラ(代表松山郁夫氏)のオペラ『てかがみ』の公開リハーサルが行われた。中村校長と松山



総勢50人の大がかりな舞台

さんは親交があり、各地の中学校で公演をするにあたり、夏休みから学校を借りて練習していた。『てかがみ』は日本のオペラ。結婚式を挙げる2人は、50年前の戦争時に日本からアメリカに渡った手鏡に託され

た愛でつながつていた、という感動的な話だった。

プロジェクトから写し出される背景や室内楽の演奏は臨場感があり、体育館に響く歌声の迫力は、どこかの劇場にいるかのような。

両日、100人近くが本格的なオペラを堪能した。

恒例の文化祭開催

高倉・長後中学校

9月19日に高倉中学校で、10月2日には長後中学校で文化祭が開かれた。高倉中学校のステージでは、人権作文や自由研究発表、スライドショー、吹奏楽部演奏が行われた。教室では、教科や部の作品が展示された。美術部は森にまつわる作品、パソコン情報部はアニメーションやゲームを発表。2つの部合同でプロジェクトションマップピングも上映、桜吹雪の中の剣士が躍動的に投影された。



手作り石鯰の出来上がり

委員会による劇、石鯰作り、クイズ、腕相撲大会、PTAの絆ゲームなど、イベントも大いに盛り上がった。

長後中学校では合唱コンクールで各クラスが素晴らしい歌声を響かせた。教室には生徒達の力作が並び、地域の人による琴の演奏やお茶席、青少年指導員のパネル展示や工作もにぎわった。

続く吹奏楽部の発表は、生き生きとした熱気あふれる演奏で、生徒や先生のダンスも飛び出して、素晴らしいフィナーレとなった。

シリーズ・わがまち再発見 ⑩ 川と橋の昔語り(2)

大和市草柳に水源を持つ引地川は、明治35年作成の「長後小誌」には綾瀬川と記載されている。また、流れる土地で名を変え、長後では長後川、上・下土棚では土棚川と呼ばれていた。引地川の名は、鶴沼の小字、引地に因る



長後橋の銘板
「はし」に濁点がないのは、川が濁らないようにとの願いから慣習的に行われた

とある。そして、六会橋は、架かる場所の下土棚がかつては六会村(亀井野・石川・西俣野・円行・今田)に属していた事に因る。
(参考資料「長後誌史」藤沢の地名)

こんにちは!

長後いきいきサポートセンター
(地域包括支援センター)

今回は消費者被害についてのお話です。特に高齢者は「お金」「健康」「孤独」の三つの大きな不安を持っているといわれています。

その不安をあおり、親切にして信用させ、年金や貯蓄等の大切な財産を狙っている悪質業者がいます。高齢者は自宅にいたことが多いため電話勧誘や家庭訪問の被害にあいやすいのです。「自分は大丈夫」と思わず、日頃からその手口等周辺の情報収集をしたり、万一が被害にあっても私どもをご活用下さい。

告知板

長後公民館事業 楽しく遊ぼう! クリスマス会

日時 12月22日(火)
14時~16時
対象 小学生50人
費用 500円
申込 12月2日(水)、3日(木) 8時30分~電話 または来館。
申込多数の場合は抽選

国際交流講座

「リオスのひとみ」

日時 12月2日(水)
14時~15時30分
講師 新倉俊子先生

わんぱく城 人形劇のつとめ

日時 11月8日(日)
11時~12時
場所 わんぱく城
出演 人形劇団
「あひるの子」
当日直接会場へ
連絡先(45)0080

2015年度 ふれあいコンサート

日時 12月5日(土)13時30分~
場所 長後市民センター体育室
出演者 藤沢総合高校・長後中学校・高倉中学校、児童クラブが参加!
主催 長後共育フォーラム

会費 後期12000円
(5回)
申込 諸節浩雄
43-5244

日時 第3木曜日
13時~15時30分
内容 短歌の学習
講師 馬淵美奈子先生
会費 1000円/月
申込 森 睦子
45-8172

ひまわり会

日時 毎週火曜日
11時~13時
内容 フォークダンス
講師 斎藤光子先生
会費 1000円/月
申込 平尾 44-5548
場所 全て長後公民館

編集後記

☆カルチャー(文化)は栽培という意味を持ち、種から花、そして果実へのプロセス。
☆ノーベル賞という事実を結ばせたのは大村智特別栄誉教授・梶田隆章教授。智は知より高次にあり、「知の地平線」という梶田教授の言葉に知への果てしない欲求を感じた。
☆文化の日とは憲法公布の日。安保法制からむ憲法論議が喧しい。今。その喧嘩に刺激されて秋の夜長に「六法全書」を繕ってみたが、知的思索を睡魔が襲うトホホ。(S・S)